



ずいきで作ったみこしが奉納されるお祭りは他にもあるようですが、三上の「ずいき神輿」は屋根4面、壁4面を全てずいきで作った緑鮮やかなみこしです。480年以上の歴史を持つ神事で、長之家、東座、西座の三つの宮座（祭祀組織）により斎行され、各座から選ばれた頭人

御上神社（野洲市三上）の秋祭りは「若宮殿相撲御神事」という名称ですが、「ずいき祭」とも呼ばれ、ずいき（サトイモの茎）で作ったみこしが奉納されます。

■ 御上神社のずいき祭（野洲市）

サトイモの茎で厳かに



大きく育ったサトイモ（ずいき）＝野洲市三上で

勢ぞろいした「ずいき神輿」＝野洲市三上の御上神社で

が親戚などのお手伝いによりみこしを作製し、10月14日に奉納してきました。三上はもとと農村集落でしたが、戦後の社会の変化により、祭行事の頭人への負担が大きくなってしまったことから、何回か改革が行われ、日程は10月の第2

月曜日（祝日）に、またみこしの奉納は頭人が行うもの、みこしの作製は三上内の五つの集落組織が担うこととなっています。みこし作りはお菓子盛と呼ばれる、2日間かけてずいきの刈り取りから組み立てまで

には国の重要無形民俗文化財に指定されています。みこしが出る祭りですが、みこしを担いで練り歩くのではなく、かみしも姿の子どもの警固を先頭に、羽織はかま姿の頭人などが行列を作り各集落の自治会館から神社まで厳かに進みます。また、当日の夜の芝

原式ではかがり火とちようちんの明かりの中、無言で厳肅に中世の宮座行事を伝える神事と角力奉納が行われます。改革により今年からはみこしが各座から1基の合計3基と、以前の5基から減少しますが、拝殿の中では

なく、本殿前に設置することから見ていただきやすくなります。また、当日には、祭りに供する郷土料理の「たて寿司」の販売も行う予定です。祭りのみこし奉納は10月12日（祝）の午前10時に出発し、11時から式典が行われ、芝原式は午後7時からです。ぜひおいでください。祭りの前日の11日の午前には、みこし作製の現場を見学していただくことができます。詳しくは御上神社のホームページをご覧ください。（ずいき祭保存会会長・市木繁和）



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

【開催情報など】ずいき祭は10月12日、御上神社で。JR野洲駅から滋賀バス北山台センター行き乗車10分、御上神社前下車。車は名神高速道路栗東インターチェンジ（IC）か竜王ICから約15分。